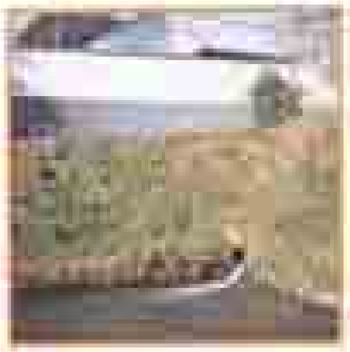
# もくじ

## ⑥きょうどのざいさん「戸ノロぜき」

戸ノロぜきは,300 年以上もの間,猪苗代湖の水を台地の上に送りつづけてきました。その水は,農業用水としてばかりでなく,水道用水,工業用水,発電用水として,さらには防火用水,おほりの水としてなど,さまざまに使われてきました。今では,水道用水,発電用水などは,べつになっていますが,それでも,戸ノロぜきがわたしたちの市の生活に大きく役立っていることは,まちがいありません。

飯盛山の洞門わきには,戸ノロぜきにかんしゃして,土地の人々が石ひをたてています。

滝沢浄水場（たきざわじょうすいじょう）



お城のおほりに入る

戸ノロぜき石ひ
（1921 年 9 月にたてられる）

**戸ノロぜきのじむしょのおじさんの話**

会津若松市の人々は,猪苗代湖という大きな水がめから,戸ノロぜきで水を引いているおかげで,他の地方のように水不足になることは,ほとんどありません。

戸ノロぜきがあったおかげで,浄水場や発電所ができ,工場や家がたつようになりました。

わたしたちは,きょうどの先ぱいたちがのこしてくれた「戸ノロぜき」という,すばらしいざいさんにかんしゃし,これからも守り育てていかなければならないと考えます。